



全力一心

No.22

令和3年12月 3日

「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責；校長 三橋正洋

「命の日」～命は自分に与えられた時間

先月19日(金)は11月の「命の日」でした。今回は、養護の先生が献血のお話をいただきました。献血は命を助けるボランティア。小学生の今はできないけれど、この話を家の人へ話したり、近い将来、献血できる年齢になった時に備えて、好き嫌いなくバランスの取れた食事を心がけたりして、命を助けるボランティアに協力していくこうという内容でした。子どもたちはいつものように、みんな真剣に聞いて、自分なりのコメントを書き記していました。 *このコメントの一部を紹介します。文や文字の修正がある箇所があります。



- 命の血は、健康なことをすればできる。好きなものばかりを食べない。健康な血をつくろう。
- 【1年】
 - 今日の話を聞いて、16才から献血ができる事を初めて知りました。ぼくも16歳にならやってみたいです。【2年】
 - 甲斐先生が献血を28回もしたと聞いて、わたしも大人になったら献血ができるように、いっぱい食べて、いっぱい遊んでいきたいと思いました。【3年】
 - わたしも野菜をたくさん食べて、きれいな血にして、他の人の命のボランティアをして、いろいろ人の命を救おうと思いました。【4年】
 - 話を聞いて、献血は16才（高1）からしか参加できないということがわかりました。だから私たちにできること、①おうちの人に伝えること ②好ききらいなく食べること、これらの2つを守っていきたいです。甲斐先生のようなりっぱな大人になりたいです。【5年】
 - 甲斐先生は28人の人の命を救ったと同じなので、すごいなと思いました。ぼくも大人になら、血液が必要な人にあげたいと思いました。【6年】
 - 「命を助けるボランティア」の話を聞き、わたしは、これからじょうぶで健康ながらだをつくり、16才になら献血をして、少しでも多くの人の「命」を助けていきたいです。【7年】
 - 献血することで、だれかの「命」が助かる学びました。だからボランティアをしている人たちのように、わたしも人のために行動して、役に立ちたいと思います。【8年】



《うれしいお知らせ》

(^)/最近、学校へおすすっ子の“温かい行動”についての情報が舞い込んでいます。

- 地域の方から「1年生数名が、地域のある場所でごみ拾いをしていた」
 - 遠足で訪れた施設から「4年生から送ってもらった訪問時のコメントがとても嬉しかった」
- こんなお知らせを聞くたびに、こちらも嬉しくなります。「よろこばせごっこ」をありがとうございます！

「全力一心」カラー版は、都農小ホームページでご覧ください。

2つの宿泊学習で成長！

2週連続で、高学年は宿泊を伴う学習（例年であれば5年生は5月実施予定ですが、今年度は感染症状況で半年延期となりました）を行いました。さまざまな準備や学習をして当日を迎え、そのかいもあっていすれも充実した学びになったようです。保護者のみなさんには経費を含め、物心両面にわたりお力添えいただき、ありがとうございました。この行事を通して、成長した子どもたちを、今後とも“温かい関わりと見届け”でよろしくお願ひいたします。

11/25~26⇒【6年生；修学旅行】

- 1日目→鵜戸神宮、飫肥城下町（班別自主研修；四半的体験など）、赤江地区戦争遺構探訪
- 2日目→青島散策、陶芸体験（ビヨーン窯さん）、フェニックス自然動物園



11/29~30⇒【5年生；都農町3校合同 集団宿泊学習】

- 青島青少年自然の家で、規律・協働・友愛・奉仕の精神を高めてきました。

